

# R5年版 環境経営レポート



発行年月日 R 6年 10月 1日

有 限 会 社 共 伸 建 設



認証番号 0008359

## 目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営計画の取組結果とその評価
  - (1)月別評価表
  - (2)環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果報告書(四半期毎)
10. 次年度の取組内容
  - (1)環境経営目標
  - (2)環境経営計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直し・指示

発行日： R6年 10月 1日

発行責任者：環境管理責任者 尾崎 将人

次回発行予定： R7年 10月 頃

## 1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 共伸建設

【代表者氏名】 代表取締役 尾崎静江

【所在地】

本社 〒781-1105 高知県土佐市蓮池457-5

倉庫 〒781-1104 高知県土佐市高岡町丁3023-2

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名

専務取締役

尾崎 将人

連絡先担当者

環境事務局

川澤 美樹

連絡先

TEL:088-852-5581

FAX:088-852-5549

E-mail:ksn5581@quartz.ocn.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業(主に土木、建築一式等の工事を行っています。)

建設業許可

許可番号 高知県知事許可(特-2)第4440号

許可年月日 令和3年1月8日

建設業の種類 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業  
鋼構造物工事業、舗装工事業、水道施設工事業  
解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和55年8月15日

資本金 3,000万円

	R3年度	R4年度	R5年度
製品生産量・出荷額(売上高) (万円)	26,487	16,034	19,714
従業員数(名)	11	15	16
事業所敷地面積(m <sup>2</sup> )	1,492.71	1,492.71	1,492.71
事業所床面積(m <sup>2</sup> )	87.78	87.78	87.78
倉庫敷地面積(m <sup>2</sup> )	4,587	4,587	4,587
倉庫床面積(m <sup>2</sup> )	562.48	562.48	562.48

会計年度 8月1日 ~ 7月31日

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### 【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 共伸建設 全社

#### ・対象事業所

本社 〒781-1105 高知県土佐市蓮池457-5 (常駐者： 3名)

倉庫 〒781-1104 高知県土佐市高岡町丁3023-2 (常駐者： 0名)

・事業活動： 建設業(土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業)

### 【レポートの対象期間】

R5年8月～R6年7月

### 【環境経営レポートの発行日】

R6年10月1日

### 【作成責任者】

環境管理責任者

尾崎 将人

### 3. 環境経営方針

#### 【環境経営理念】

有限会社共伸建設は、安心・安全な国土・社会の形成を礎に事業活動の中に於いて自然環境の保全、循環型社会への貢献を念頭に置き、環境への負荷軽減と二酸化炭素排出量の削減に積極的に取り組み、効率的な環境活動を通して、社会のニーズに合った環境負荷の少ない工法を施工し、環境経営を推進してまいります。

#### 【基本方針】

1. 電気及び化石燃料の使用量を抑制し、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 事務所・倉庫及び建設現場での一般廃棄物の削減及び、産業廃棄物のリサイクルを推進します。
3. 節水を徹底するとともに、雨水等を利用することで水使用量を削減します。
4. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
5. 環境に配慮した工事の実施を推進します。
6. 地域清掃活動や、ロードボランティア活動に積極的に参加します。
7. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
8. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底し、環境活動の改善に継続的に取り組みます。
9. 環境経営レポート等、環境情報については広く外部に公表します。

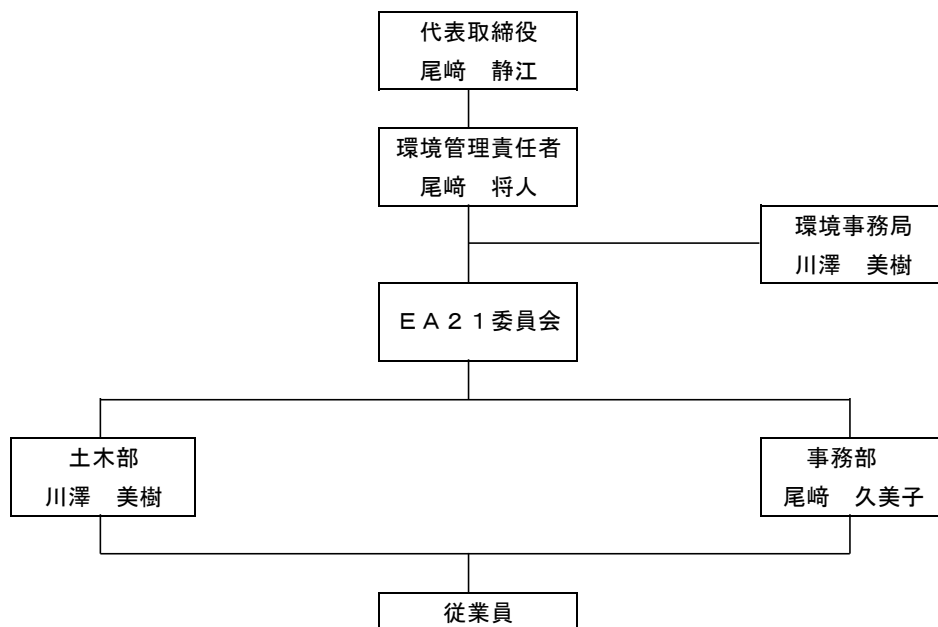
制定日：2011年 9月 30日

改訂日：2018年 8月 1日

有限会社 共伸建設

代表取締役 尾崎 静江

#### 4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認</li> <li>・代表者による全体評価と見直し・指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局</li> <li>・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開</li> </ul>
E A 2 1 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの運用・実施に係る社内の連絡、調整</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施</li> <li>・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告</li> <li>・自部門に係る緊急事態訓練の実施</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

### <全体概況>

- 燃料使用量は、ガソリン・軽油については目標を達成できたが、灯油使用量が目標未達成となった。
- ガソリン使用量の削減については、ハイブリッドカーの使用により目標を達成出来ました。
- 軽油使用量の削減については、建設機械のエコ運転を重点的に行った結果、目標を達成する事が出来ました。
- 灯油使用量の削減については、例年に比べて厳冬であった為、石油ストーブの使用頻度が増えたので目標未達成となった。
- 電力使用量削減は、不要な電気機器の電源を切る事や、エコモードでのパソコンの使用を実施することで、削減に取り組んでいます。目標を達成出来ました。
- CO2排出量の削減については、車両・建設機械のエコ運転を実施することにより、削減効果が見られました。目標を達成出来ました。
- 水使用量の削減については、洗車、散水等で水道水の利用を控え雨水を利用することで、取り組み結果が来ています。
- 産業廃棄物排出量は、分別処理を徹底して行い減量化に努めた事により、目標を達成出来ました。
- 一般廃棄物排出量は、分別を徹底しており目標を達成することが出来ました。
- 環境負荷の少ない工事については、低騒音・排出ガス対策型重機の使用、リサイクル資源の使用などに取り組んでいます。
- 環境美化活動については、活動路線が1路線減少した為、目標未達成となった。  
本年度はロードボランティア活動（26回）を実施しています。  
また波介川、火渡川等の清掃活動（年4回）にも参加しています。

### <有限会社 共伸建設 の物質フロー>（R5年度）



## 6. 環境経営目標

(R5年度)

### (1) 単年度目標

(R5年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年 H27～H29年度 H27.8－H30.7	R5年度 目標（-6%） R5.8－R6.7
売上高		百万円	248	
燃料使用量			33,710	31,687
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,248	5,873
	原単位	(ℓ/百万円)	25.2	23.7
軽油使用量	総量	(ℓ)	27,164	25,534
	原単位	(ℓ/百万円)	109.5	103.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	298	280
	原単位	(ℓ/百万円)	1.20	1.13
電力使用量	総量	(kWh)	30,281	28,464
	原単位	(kWh/百万円)	122.1	114.8
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg－CO <sub>2</sub> )	98,076	92,191
	原単位	(kg－CO <sub>2</sub> /百万円)	395.5	371.7
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	169	159
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.68	0.64
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	400	376
	原単位	(kg/百万円)	1.61	1.52
産業廃棄物排出量	総量	(t)	363	341
	原単位	(t/百万円)	1.46	1.38
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.7	95.0
グリーン購入	総量	(%)	60	60
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	34

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（H30年度実績）  
（令和元年 7月25日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg－CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。

\* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

\* 3. 環境負荷の少ない工事 (例)

- 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 濁水防止対策の実施



## (2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	H27～H29年度 実績（基準年）	R6年度 目標（-7%）	R7年度 目標（-8%）	R8年度 目標（-9%）
売上高		百万円	248			
燃料使用量			33,710	31,350	31,013	30,676
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,248	5,811	5,748	5,686
	原単位	(ℓ/百万円)	25.2	23.4	23.2	22.9
軽油使用量	総量	(ℓ)	27,164	25,263	24,991	24,719
	原単位	(ℓ/百万円)	109.5	101.9	100.8	99.7
灯油使用量	総量	(ℓ)	298	277	274	271
	原単位	(ℓ/百万円)	1.20	1.12	1.11	1.09
電力使用量	総量	(kWh)	30,281	28,161	27,859	27,556
	原単位	(kWh/百万円)	122.1	113.6	112.3	111.1
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	98,076	91,211	90,230	89,249
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	395.5	367.8	363.8	359.9
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	169	157	155	154
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.68	0.63	0.63	0.62
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	400	372	368	364
	原単位	(kg/百万円)	1.61	1.50	1.48	1.47
産業廃棄物排出量	総量	(t)	363	338	334	330
	原単位	(t/百万円)	1.46	1.36	1.35	1.33
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.7	95.0	95.0	95.0
グリーン購入	総量	(%)	60	60	60	60
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	34	22	22

※目標値は基準年から、1年毎に1%ずつ段階的に削減した。

- \* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（H30年度実績）  
（令和元年 7月25日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。
- \* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
- \* 3. 環境負荷の少ない工事（例）
  - 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
  - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
  - 型枠、工事看板への間伐材の使用
  - 濁水防止対策の実施

## 7. 環境経営計画

期間：R5年 8月 ～ R6年 7月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの実施	土木部長	7月31日
		○無人アイドリングの廃止	土木部長	7月31日
		○定期点検・メンテナンスによる適正使用	土木部長	7月31日
		○タイヤの指定空気圧の点検	土木部長・事務部長	7月31日
		○エアクリナーの清掃又は交換	土木部長	7月31日
	電力使用量 削減	○室内不在時、昼休み等の消灯励行	土木部長・事務部長	7月31日
		○パソコン・コピー機等の省電力設定	土木部長・事務部長	7月31日
		○クールビズ・ウォームビズの工夫を行う	土木部長・事務部長	7月31日
		○冷房は28±1℃、暖房は22±1℃に設定する	土木部長・事務部長	7月31日
		○省エネ電化製品の使用	土木部長・事務部長	7月31日
水使用量削減		○洗車、散水等の雨水利用	土木部長・事務部長	7月31日
		○溜め洗いを行う	土木部長・事務部長	7月31日
		○水道蛇口をこまめに閉める	土木部長・事務部長	7月31日
廃棄物削減	一般廃棄物	○分別処理の徹底	土木部長・事務部長	7月31日
		○詰替え製品の利用	土木部長・事務部長	7月31日
	産業廃棄物	○分別処理の徹底	土木部長	7月31日
		○廃棄物の適正処理	土木部長	7月31日
グリーン購入		○エコマーク製品の優先購入	事務部長	7月31日
		○特定調達品の優先購入	事務部長	7月31日
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料の使用(県産品)	土木部長	7月31日
		○濁水防止対策の実施	土木部長	7月31日
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	土木部長	7月31日
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	土木部長	7月31日
		○作業時以外の、機械類のエンジンストップ	土木部長	7月31日
環境美化活動		○道路清掃の定期的実施	土木部長	7月31日
		○地域の河川清掃への参加	土木部長	7月31日

## 8. 環境経営目標の実績

### (1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 H27～H29年度 H27.8－H 30.7	R5年度 目標 (-6%) R5.8－R6.7	R5年度 実績 R5.8－R6.7	実績値／目標値 (%)	評価
売上高		百万円	248		197		
燃料使用量			33,710	31,687	19,690	62.1%	○
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,248	5,873	2,146	36.5%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	25.2	23.7	10.9	46.0%	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	27,164	25,534	17,175	67.3%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	109.5	103.0	87.2	84.6%	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	298	280	369	131.8%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	1.20	1.13	1.87	165.8%	×
電力使用量	総量	(kWh)	30,281	28,464	19,903	69.9%	○
	原単位	(kWh/百万円)	122.1	114.8	101.0	88.0%	○
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	98,076	92,191	60,718	65.9%	○
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	395.5	371.8	308.2	82.9%	○
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	169	159	51	32.1%	○
	原単位	(m3/百万円)	0.68	0.64	0.26	40.5%	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	400	376	274	72.9%	○
	原単位	(kg/百万円)	1.61	1.51	1.39	92.1%	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	363	341	221	64.8%	○
	原単位	(t/百万円)	1.46	1.37	1.12	81.9%	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.7	95.0	98.0	103.2%	○
グリーン購入量	総量	(%)	60	60	70	116.7%	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100.0%	○
環境美化活動	総量	(回)	10	34	22	64.7%	×

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数 (H30年度実績)

(令和元年 7月25日公表) の四国電力の調整後排出係数0.528 (kg-CO<sub>2</sub> / kWh) を使用した。

\* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)

\* 3. 環境負荷の少ない工事

(例)

○環境負荷の少ない材料 (リサイクル材、県産品等) の使用

○濁水防止対策の実施

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

\* 4. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

○ : 目標を達成でき満足できている。(目標値(%)以下)

△ : 目標をやや超して未達成となっている。( +10.0%以内)

× : 目標が未達成である。( +10.1%以上)

#### <環境経営目標未達成等理由>

灯油 : 例年に比べて厳冬であった為、石油ストーブの使用頻度が増えたので、目標未達成となった。

環境美化活動 : 活動路線が1路線減少したため回数は減ったが、活動としては実施している。

※これらは一過性のものであり、今後も削減を行い目標を達成していきます。

<過去の実績>

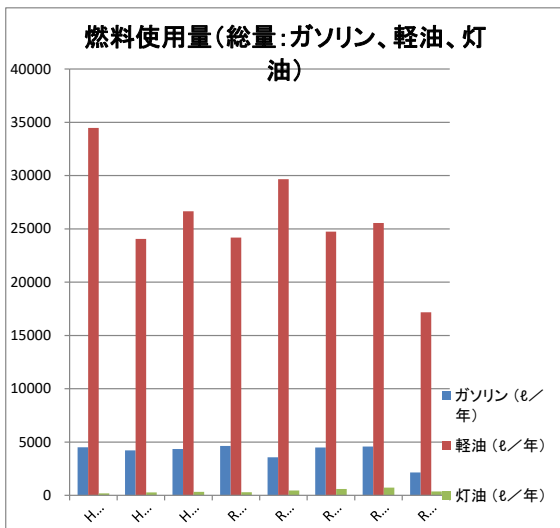
項目	総量・原単位	単位	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績
売上高		百万円	615	264	160	197
燃料使用量			33,683	29,821	30,850	19,690
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,572	4,492	4,573	2,146
	原単位	(ℓ/百万円)	5.8	17.0	28.6	10.9
軽油使用量	総量	(ℓ)	29,664	24,738	25,560	17,175
	原単位	(ℓ/百万円)	48.2	93.7	159.8	87.2
灯油使用量	総量	(ℓ)	447	591	717	369
	原単位	(ℓ/百万円)	0.73	2.24	4.48	1.87
電力使用量	総量	(kWh)	36,796	47,188	28,252	19,903
	原単位	(kWh/百万円)	59.8	178.7	176.6	101.0
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	105,360	100,631	93,257	60,718
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	171.3	381.2	582.9	308.2
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	83	76	63	51
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.13	0.29	0.39	0.26
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	335	336	338	274
	原単位	(kg/百万円)	0.54	1.27	2.11	1.39
産業廃棄物排出量	総量	(t)	185	248	921	221
	原単位	(t/百万円)	0.30	0.94	5.76	1.12
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	92.4	99.0	21.0	98.0
グリーン購入	総量	(%)	65	70	70	70
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	34	34	34	22

<基準年(3カ年)の算出>

項目	総量・原単位	単位	H27～H29年度 実績（基準年）	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績
売上高		百万円	248	253	238	252
燃料使用量			33,710	33,419	39,166	28,545
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,248	10,016	4,513	4,216
	原単位	(ℓ/百万円)	25.2	39.6	19.0	16.7
軽油使用量	総量	(ℓ)	27,164	22,975	34,464	24,052
	原単位	(ℓ/百万円)	109.5	90.8	144.8	95.4
灯油使用量	総量	(ℓ)	298	428	189	277
	原単位	(ℓ/百万円)	1.20	1.69	0.79	1.10
電力使用量	総量	(kWh)	30,281	43,755	22,025	25,062
	原単位	(kWh/百万円)	122.1	172.9	92.5	99.5
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	98,076	102,301	109,044	82,883
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	395.5	404.4	458.2	328.9
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	169	41	35	432
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.68	0.16	0.15	1.71
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	400	400	400	400
	原単位	(kg/百万円)	1.61	1.58	1.68	1.59
産業廃棄物排出量	総量	(t)	363	260	429	400
	原単位	(t/百万円)	1.46	1.03	1.80	1.59
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.7	100.0	99.2	100.0
グリーン購入	総量	(%)	60	60	60	60
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	34

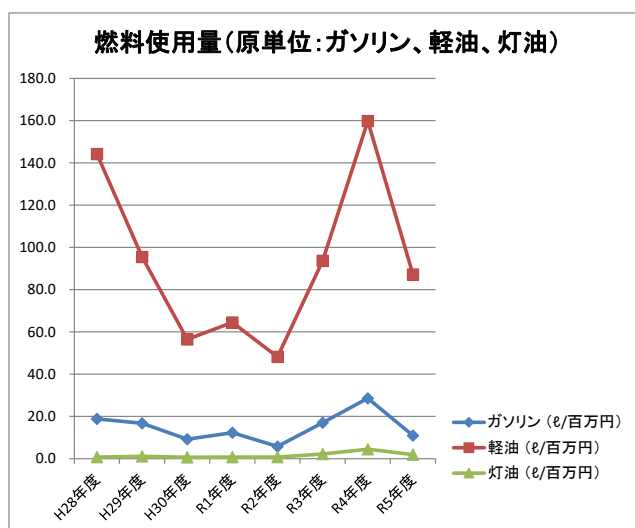
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）  
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
H28年度	4513	34464	189
H29年度	4216	24052	277
H30年度	4348	26650	316
R1年度	4,629	24,186	291
R2年度	3,572	29,664	447
R3年度	4,492	24,738	591
R4年度	4,573	25,560	717
R5年度	2,146	17,175	369



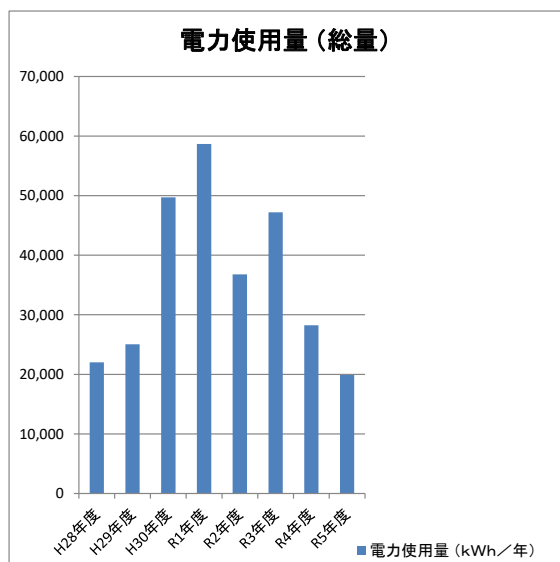
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）  
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
H28年度	18.9	144.2	0.79
H29年度	16.7	95.4	1.10
H30年度	9.2	56.5	0.67
R1年度	12.3	64.5	0.78
R2年度	5.8	48.2	0.73
R3年度	17.0	93.7	2.24
R4年度	28.6	159.8	4.48
R5年度	10.9	87.2	1.96



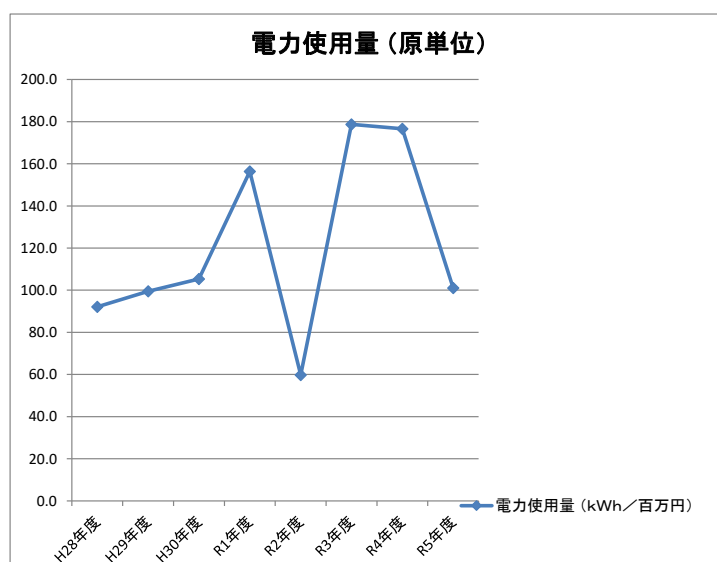
電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
H28年度	22,025
H29年度	25,062
H30年度	49,697
R1年度	58,660
R2年度	36,796
R3年度	47,180
R4年度	28,252
R5年度	19,903



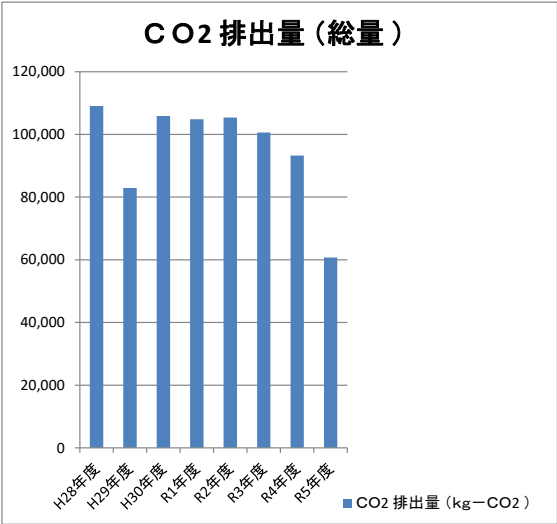
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
H28年度	92.2
H29年度	99.5
H30年度	105.3
R1年度	156.4
R2年度	59.8
R3年度	178.7
R4年度	176.6
R5年度	101



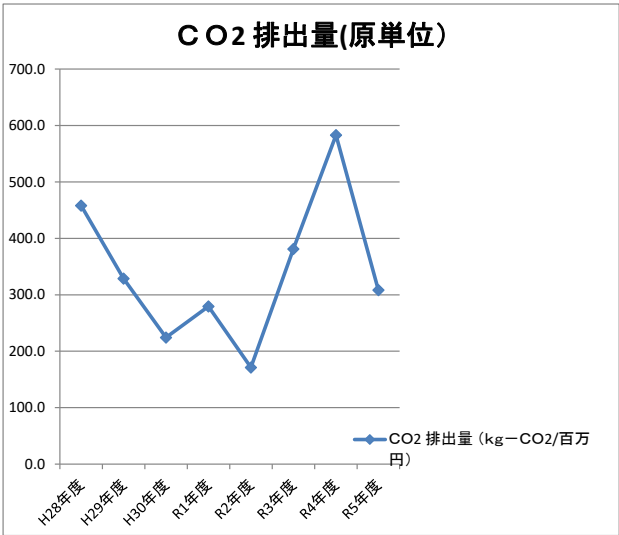
CO<sub>2</sub> 排出量（総量：（k g－CO<sub>2</sub>）

年度	CO <sub>2</sub> 排出量 (k g－CO <sub>2</sub> )
H28年度	109,044
H29年度	82,883
H30年度	105,870
R1年度	104,838
R2年度	105,360
R3年度	100,631
R4年度	93,257
R5年度	60,718



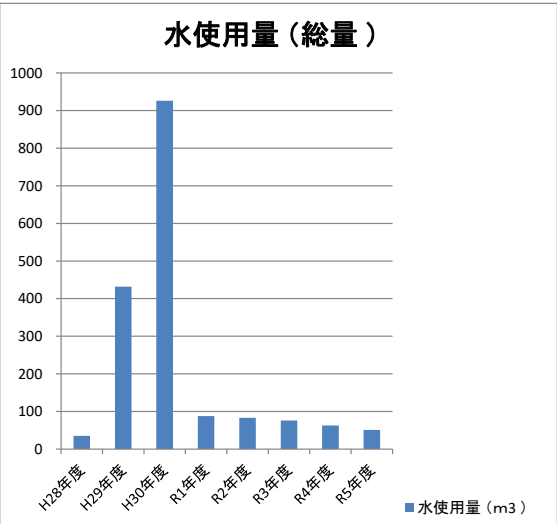
CO<sub>2</sub> 排出量（原単位：k g－CO<sub>2</sub>/百万円）

年度	CO <sub>2</sub> 排出量 (k g－CO <sub>2</sub> /百万 円)
H28年度	458.2
H29年度	328.9
H30年度	224.3
R1年度	279.6
R2年度	171.3
R3年度	381.2
R4年度	582.9
R5年度	308.2



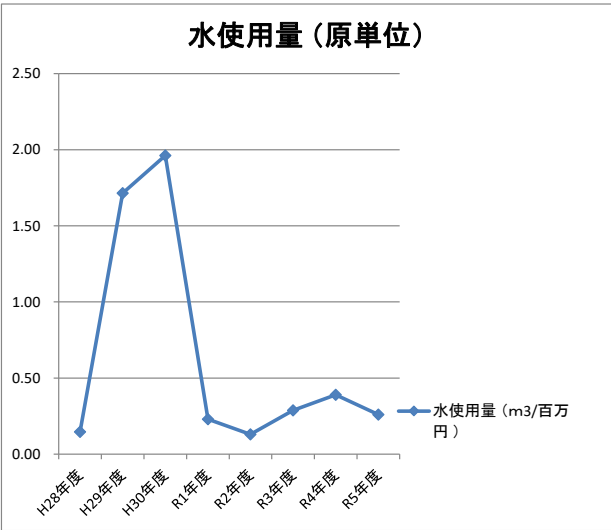
水使用量（総量：m3）

年度	水使用量 (m <sup>3</sup> )
H28年度	35
H29年度	432
H30年度	926
R1年度	88
R2年度	83
R3年度	76
R4年度	63
R5年度	51



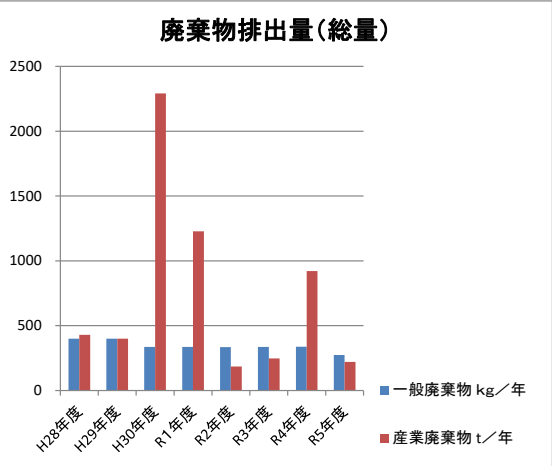
水使用量(原単位：m3/百万円)

年度	水使用量 (m <sup>3</sup> /百万円)
H28年度	0.15
H29年度	1.71
H30年度	1.96
R1年度	0.23
R2年度	0.13
R3年度	0.29
R4年度	0.39
R5年度	0.26



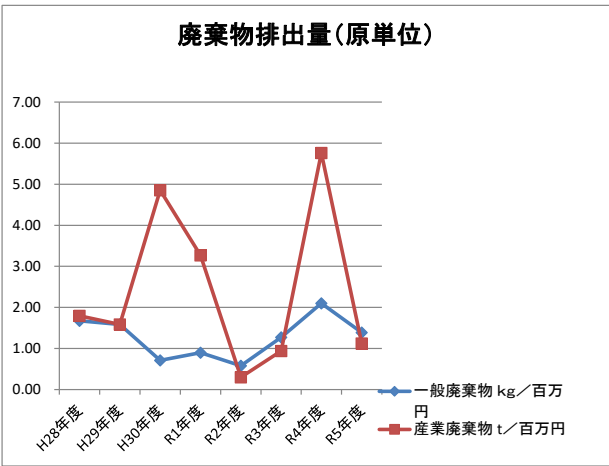
廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)  
 単位:一般廃棄物 kg／年  
 単位:産業廃棄物 t／年

年度	一般廃棄物 kg／年	産業廃棄物 t／年
H28年度	400	429
H29年度	400	400
H30年度	336	2291
R 1 年度	336	1228
R2年度	335	185
R3年度	336	248
R4年度	338	921
R5年度	274	221



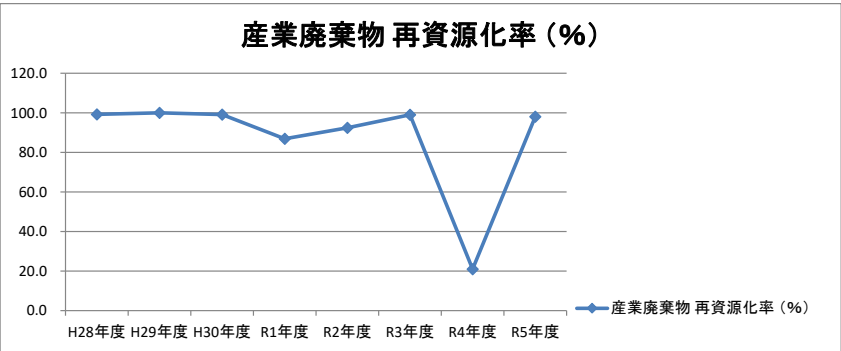
廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)  
 単位:一般廃棄物 kg／百万円  
 単位:産業廃棄物 t／百万円

年度	一般廃棄物 kg／百万円	産業廃棄物 t／百万円
H28年度	1.67	1.79
H29年度	1.59	1.59
H30年度	0.71	4.85
R1年度	0.90	3.27
R2年度	0.58	0.30
R3年度	1.27	0.94
R4年度	2.10	5.76
R5年度	1.39	1.12



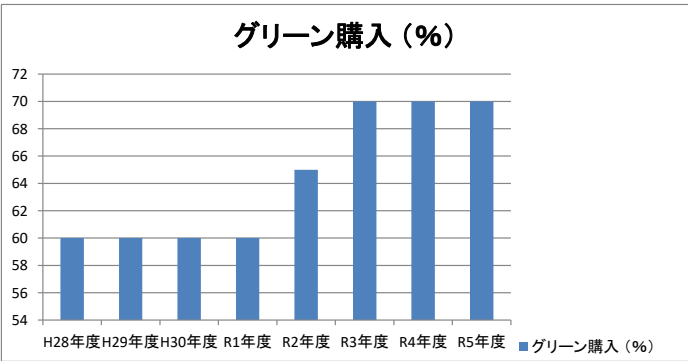
産業廃棄物再資源化率(%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
H28年度	99.2
H29年度	100.0
H30年度	99.1
R1年度	86.9
R2年度	92.4
R3年度	99.0
R4年度	21.0
R5年度	98.0



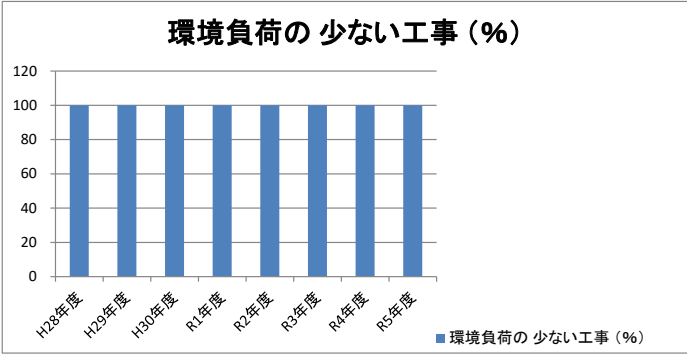
グリーン購入(%)

年度	グリーン購入 (%)
H28年度	60
H29年度	60
H30年度	60
R1年度	60
R2年度	65
R3年度	70
R4年度	70
R5年度	70



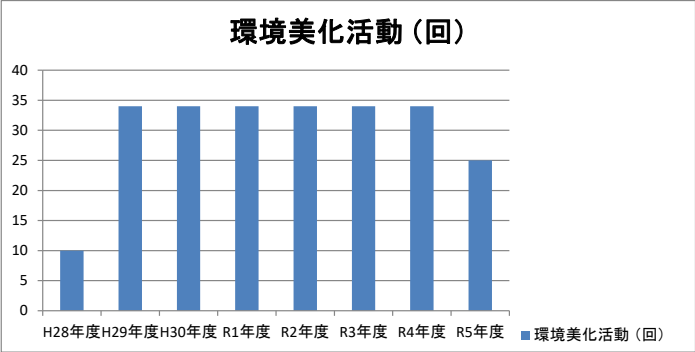
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
H28年度	100
H29年度	100
H30年度	100
R1年度	100
R2年度	100
R3年度	100
R4年度	100
R5年度	100



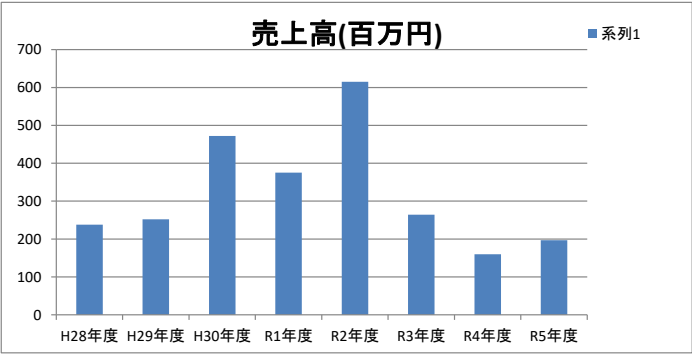
環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
H28年度	10
H29年度	34
H30年度	34
R1年度	34
R2年度	34
R3年度	34
R4年度	34
R5年度	25



売上高(百万円)

年度	売上高(百万円)
H28年度	238
H29年度	252
H30年度	472
R1年度	375
R2年度	615
R3年度	264
R4年度	160
R5年度	197



エネルギーコスト概算

( 令和5年度 )			
項目	単位	使用量	金額(円)
化石燃料使用量			
軽油	L	17,175	2,109,308
ガソリン	L	2,146	372,303
灯油	L	369	43,082
電力使用量	kwh	19,903	775,548
合計金額			3,300,241

- ・年間エネルギーコストは、概算: 約330万円
- ・売上高に占めるエネルギー費用の割合は、2%



## 9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：R5年 8月 ～ R6年 7月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○エコドライブの実施	全社員に周知徹底できており、取り組み結果は上出来である。	○	無
		○無人アイドリングの廃止			
		○定期点検・メンテナンスによる適正使用			
		○タイヤの指定空気圧の点検			
		○エアクリーナーの清掃又は交換			
	電力使用量削減	○室内不在時、昼休み等の消灯励行	全社員に周知徹底できており、取り組み結果は上出来である。	○	無
		○パソコン・コピー機等の省電力設定			
		○クールビズ・ウォームビズの工夫を行う			
		○冷房は28±1℃、暖房は22±1℃に設定する			
		○省エネ電化製品の使用			
水使用量削減		○洗車、散水等の雨水利用	全社員に周知徹底できており、取り組み結果は上出来である。	○	無
		○溜め洗いを行う			
		○水道蛇口をこまめに閉める			
廃棄物削減	一般廃棄物	○分別処理の徹底	全社員に周知徹底できており、全工事での取り組み結果は上出来である。	○	無
		○詰替え製品の利用			
	産業廃棄物	○分別処理の徹底			
		○廃棄物の適正処理			
グリーン購入		○エコマーク製品の優先購入	70%の製品で実施できた。	○	無
		○特定調達品の優先購入			
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料の使用(県産品)	全ての工事現場にて実施した。	○	無
		○濁水防止対策の実施			
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用			
		○型枠、工事看板への間伐材の使用			
		○作業時以外の、機械類のエンジンストップ			
環境美化活動		○道路清掃の定期的実施	いずれも実施しており、取り組み結果は上出来である。	○	無
		○地域の河川清掃への参加			

9. 環境経営計画の取組結果とその評価  
(1) 月別評価表

評価点は毎月点検評価を行い結果を良いほうから5・3・1の3段階評価  
評価点:5・・・非常に良い 3・・・普通に出来ている 1・・・あまり出来ていない

※毎月の手順の評価及び使用量を記す。

項目		活動内容	区分	達成手段の評価												計
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
CO2排出量 削減	燃料使用量 削減	燃料使用量(L)	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		実績	2101	1304	1886	2101	1890	1390	2434	1732	1357	2024	359	1112	19690	
		エコドライブの実施	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		無人アイドリングの廃止	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		定期点検・メンテナンスによる適正使用	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		タイヤの指定空気圧の点検	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	58
	エアクリーナーの清掃又は交換	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	電力使用量 削減	購入電力使用量(kwh)	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		実績	3377	1570	1445	1139	1600	1914	1783	1723	1667	1239	1264	1182	19903	
		室内不在時、昼休み等の消灯	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		パソコン・コピー機等の省電力設定	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		クールビズ・ウォームビズの工夫を行う	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
冷房は28±1℃、暖房は22+1℃に設定する		計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
実績		3	3	5	5	5	3	3	4	5	5	5	3	49	60	
水使用量削減	省エネ電化製品の使用	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	洗車、散水等の雨水使用	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	溜め洗いをを行う	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	水道蛇口をこまめに閉める	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
	廃棄物 削減	一般廃棄物	分別処理の徹底	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
			実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
詰替え製品の利用			計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
産業廃棄物		分別処理の徹底	実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
グリーン購入	エコマーク製品の優先購入	環境負荷の少ない材料の使用(県産品)	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		漏水防止対策の実施	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		低騒音、排出ガス対策型重機の使用	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
環境負荷の少ない工事	型枠、工事看板への間伐材の使用	作業時以外の、機械類のエンジンストップ	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		道路清掃の定期的実施	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		地域の河川清掃への参加	計画	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		実績	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

## 9. 環境経営計画の取組結果とその評価

### (2) 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果報告書(四半期毎)

手順: 環境管理責任者は、環境目標の達成状況、環境活動計画の実施状況、環境経営システムの運用状況及び環境関連法規等の遵守状況について、これらを定期的に確認(監視・測定)のうえ、評価する。

確認項目	各欄へは確認日と評価			
	令和5年10月31日	令和6年1月30日	令和6年4月30日	令和6年7月31日
環境目標の達成状況の評価(四半期毎に評価。(進捗率を記入。期間終了時点で環境目標の達成が可能か、未達成かを判断する。困難な場合は是正処置実施。)	CO2 排出量 ( 18.3 % ) ≤35.0% CO2排出量削減達成可能	CO2 排出量 ( 35.8 % ) ≤60.0% CO2排出量削減達成可能	CO2 排出量 ( 54.1 % ) ≤85.0% CO2排出量削減達成可能	CO2 排出量 ( 65.9 % ) ≤100.0% CO2排出量削減達成
環境活動計画の実施状況の評価(毎月確認)(計画に沿った取組が、定められた責任・役割のもと、スケジュールどおりに実施しているかの判断。困難な場合は是正処置実施。)	令和5年8月31日	令和5年11月30日	令和6年2月27日	令和6年5月31日
	冷房の設定温度が守られていない(ウイルス対策のため換気多い)	実施できている	暖房の設定温度が守られていない(ウイルス対策のため換気多い)	実施できている
	令和5年9月30日	令和5年12月26日	令和6年3月31日	令和6年6月30日
	冷房の設定温度が守られていない(ウイルス対策のため換気多い)	実施できている	暖房の設定温度が守られていない(ウイルス対策のため換気多い)	実施できている
	令和5年10月31日	令和6年1月30日	令和6年4月30日	令和6年7月31日
	実施できている	暖房の設定温度が守られていない(ウイルス対策のため換気多い)	タイヤの指定空気圧点検の忘れがある	冷房の設定温度が守られていない(ウイルス対策のため換気多い)
環境経営システムの運用状況の評価(要求事項を満たしているか、自らが決めたルールのとおり取組がなされているか、システム自体が有効に機能しているかの判断。困難な場合は是正処置実施。)	令和5年10月31日	令和5年1月30日	令和6年4月30日	令和6年7月31日
	要求事項を満たした取り組みがされてシステムが有効に機能している	要求事項を満たした取り組みがされてシステムが有効に機能している	要求事項を満たした取り組みがされてシステムが有効に機能している	要求事項を満たした取り組みがされてシステムが有効に機能している
環境関連法規等の遵守状況(届出の有無、測定の実施状況(時期、頻度等)、基準値の遵守状況等、遵法性について確認。困難な場合は是正処置実施。)	令和5年10月31日	令和6年1月30日	令和6年4月30日	令和6年7月31日
	遵守されている	遵守されている	遵守されている	遵守されている
環境配慮の取組の実施状況(環境配慮の取組が適切に実施されているかの判断。困難な場合は是正処置実施。)	令和5年10月31日	令和5年1月30日	令和6年4月30日	令和6年7月31日
	実施されている	実施されている	実施されている	実施されている

## 対象となる持続可能な開発目標(SDGs)範囲

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsNO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう	○	障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任 つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	環境教育、協力会社との打合せ

## 具体的な取組状況

### 1. CO<sub>2</sub> 排出量削減

#### (1) 燃料使用量削減



#### 社用車の更新

H30年 8月から社用車 3 台のハイブリッド車を使用しています。



#### 急発進・急加速・急停止の禁止

R1年 8月に社用車内に「急発進・急加速・急停止の禁止」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



#### 重機(第3次規制)のエコモード運転の徹底

R1年 8月に全ての重機に「エコモード運転の徹底」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



#### 車の相乗りの徹底

工事現場へ行く時は、必ず相乗りで現地に行き、社用車の燃料使用量削減に努めています。

#### (2) 電力使用量削減



#### 本社事務所 1 階 LED 照明設置

(平成27年7月設置)

本社事務所の照明(5本)を蛍光灯からLEDに更新しました。



#### 節電の啓発

平成23年度の活動開始当初から本社事務所内の証明スイッチやコピー機周辺に節電ポスター(2ヶ所)を貼付け、啓発を図っています。

## 2. 用水使用量の削減



### 節水シール貼付

平成23年度の活動開始当初から本社事務所内の水道蛇口(3ヶ所)に節水ポスターを貼付け、啓発を図っています。

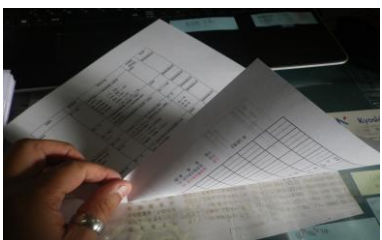
## 3. 廃棄物の削減

### (1) 一般廃棄物の削減



### 不要紙ごみの分別の徹底

紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用を行っています。



### コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施することにより、年間でコピー用紙の使用量を65%削減しました。

## 4. グリーン購入



### 事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品：ファイル類

## 5. 環境負荷の少ない工事



### 低騒音、排出ガス対策型重機の使用

R1.8～R2.7迄の工事すべてにおいて低騒音、排出ガス対策型重機を使用しました。工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量の削減をしています。

## 6. 環境美化活動



### ロードボランティア活動

土佐市内、3路線においてロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。  
(各路線、年12回実施)

## 10. 次年度の取組内容

### (1) 環境経営目標

#### (1) 単年度目標 (R6年度) (R6年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年 H27～H29年度 H27.8－H30.7	R6年度 目標(－7%) R6.8－R7.7
売上高		百万円	248	
燃料使用量			33,710	31,350
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,248	5,811
	原単位	(ℓ/百万円)	25.2	23.4
軽油使用量	総量	(ℓ)	27,164	25,263
	原単位	(ℓ/百万円)	109.5	101.9
灯油使用量	総量	(ℓ)	298	277
	原単位	(ℓ/百万円)	1.20	1.12
電力使用量	総量	(kWh)	30,281	28,161
	原単位	(kWh/百万円)	122.1	113.6
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg－CO <sub>2</sub> )	98,076	91,211
	原単位	(kg－CO <sub>2</sub> /百万円)	395.5	367.8
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	169	157
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.68	0.63
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	400	372
	原単位	(kg/百万円)	1.61	1.50
産業廃棄物排出量	総量	(t)	363	338
	原単位	(t/百万円)	1.46	1.36
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.7	95.0
グリーン購入	総量	(%)	60	60
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	34

- \* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（H30年度実績）  
（令和元年 7月25日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg－CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。
- \* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
- \* 3. 環境負荷の少ない工事 (例)
- 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
  - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
  - 型枠、工事看板への間伐材の使用
  - 濁水防止対策の実施



## (2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	H27年度～H29年度 実績（基準年）	R7年度 目標（-8%）	R8年度 目標（-9%）	R9年度 目標（-10%）
売上高		百万円	248			
燃料使用量			33,710	31,013	30,676	30,339
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,248	5,748	5,686	5,623
	原単位	(ℓ/百万円)	25.2	23.2	22.9	22.7
軽油使用量	総量	(ℓ)	27,164	24,991	24,719	24,448
	原単位	(ℓ/百万円)	109.5	100.8	99.7	98.6
灯油使用量	総量	(ℓ)	298	274	271	268
	原単位	(ℓ/百万円)	1.20	1.11	1.09	1.08
電力使用量	総量	(kWh)	30,281	27,859	27,556	27,253
	原単位	(kWh/百万円)	122.1	112.3	111.1	109.9
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	(kg-CO <sub>2</sub> )	98,076	90,230	89,249	88,268
	原単位	(kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	395.5	363.8	359.9	355.9
水使用量	総量	(m <sup>3</sup> )	169	155	154	152
	原単位	(m <sup>3</sup> /百万円)	0.68	0.63	0.62	0.61
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	400	368	364	360
	原単位	(kg/百万円)	1.61	1.48	1.47	1.45
産業廃棄物排出量	総量	(t)	363	334	330	327
	原単位	(t/百万円)	1.46	1.35	1.33	1.32
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.7	95.0	95.0	95.0
グリーン購入	総量	(%)	60	60	60	60
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	22	22	22

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数（H30年度実績）

（令和元年 7月25日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。

\* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

\* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○濁水防止対策の実施



10. 次年度の取り組み内容

(2) 環境経営計画

期間： R6年8月 ～ R7年7月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの実施	土木部長	7月31日
		○無人アイドリングの廃止	土木部長	7月31日
		○定期点検・メンテナンスによる適正使用	土木部長	7月31日
		○タイヤの指定空気圧の点検	土木部長	7月31日
		○エアクリナーの清掃又は交換	土木部長	7月31日
	電力使用量 削減	○室内不在時、昼休み等の消灯励行	土木部長・事務部長	7月31日
		○パソコン・コピー機等の省電力設定	土木部長・事務部長	7月31日
		○クールビズ・ウォームビズの工夫を行う	土木部長・事務部長	7月31日
		○冷房は28±1℃、暖房は22±1℃に設定する	土木部長・事務部長	7月31日
		○省エネ電化製品の使用	土木部長・事務部長	7月31日
水使用量削減		○洗車、散水等の雨水利用	土木部長・事務部長	7月31日
		○溜め洗いを行う	土木部長・事務部長	7月31日
		○水道蛇口をこまめに閉める	土木部長・事務部長	7月31日
廃棄物削減	一般廃棄物	○分別処理の徹底	土木部長・事務部長	7月31日
		○詰替え製品の利用	土木部長・事務部長	7月31日
	産業廃棄物	○分別処理の徹底	土木部長	7月31日
		○廃棄物の適正処理	土木部長	7月31日
グリーン購入		○エコマーク製品の優先購入	事務部長	7月31日
		○特定調達品の優先購入	事務部長	7月31日
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料の使用(県産品)	土木部長	7月31日
		○濁水防止対策の実施	土木部長	7月31日
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	土木部長	7月31日
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	土木部長	7月31日
		○作業時以外の、機械類のエンジンストップ	土木部長	7月31日
環境美化活動		○道路清掃の定期的実施	土木部長	7月31日
		○地域の河川清掃への参加	土木部長	7月31日

## 11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	現場管理責任者	○	8月1日
	第7条の13項	○一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	各工事現場の代理人	○	8月1日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	現場管理責任者	○	8月1日
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	現場管理責任者	○	8月1日
	第12条の3	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	各工事現場の代理人	○	8月1日
	第12条の37項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	現場管理責任者	○	8月1日
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新）	期限切れ 3ヶ月前	現場管理責任者	○	8月1日
	第14条の112項	産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分				
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	現場管理責任者	該当なし	8月1日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	各工事現場の代理人	○	8月1日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	各工事現場の代理人	○	8月1日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m <sup>2</sup> 以上 新築・増築：床面積500m <sup>2</sup> 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	各工事現場の代理人	○	8月1日
労働安全衛生法	第10条	○労働者の安全又は衛生のための教育の実施と措置。	必要時	各工事の現場代理人	○	8月1日
	第88条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長宛に提出（着工14日前まで）	必要時	環境管理責任者	該当なし	
	石綿則第5条	○建築物解体等作業届を労働基準監督署長宛に提出（作業前）	必要時	環境管理責任者	該当なし	
騒音規制法	第5条 第6条	○騒音規制基準の遵守（特定工場等） ○特定施設の設置届 （特定施設設置工事開始30日前までに市町村長に届出）	必要時 設置工事開始時	環境管理責任者	該当なし	8月1日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時			
振動規制法	第5条 第6条	○振動規制基準の遵守（特定工場等） ○特定施設の設置届 （特定施設設置工事開始30日前までに市町村長に届出）	必要時 設置工事開始時	環境管理責任者	該当なし	8月1日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）				
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の17	解体等工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに、その結果等を解体等工事場所へ掲示	必要時	環境管理責任者	該当なし	8月1日

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
消防法	第8条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 (遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出)	必要時	環境管理責任者	該当なし	8月1日
	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第1石油類 ガソリン: 200ℓ 第2石油類 灯油、軽油: 1,000ℓ 第3石油類 重油: 2,000ℓ 第4石油類 潤滑油: 6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	環境管理責任者	該当なし	8月1日
	第17条の 3の2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工10日前	環境管理責任者	該当なし	8月1日
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	環境管理責任者	該当なし	8月1日
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告	年1回	環境管理責任者	該当なし	8月1日
	第5条	○簡易点検の実施 第一種特定製品(エアコン): 7.5kW未満	4回/1年以上	環境管理責任者	○	8月1日
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施 ※事務所は汲み取り式トイレ	年1回	環境管理責任者	該当なし	8月1日
水質汚濁防止法	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止の ための必要な措置の実施	必要時	現場管理責任者	○	8月1日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	現場管理責任者	○	8月1日
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	環境管理責任者	○	8月1日
土佐市環境美化条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全	必要時	環境管理責任者	○	8月1日

## (2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

R5年 8月より R6年 7月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。  
過去3年間、関係当局より、違反・訴訟等はありませんでした。

代表者
尾崎 静江

12. 代表者による全体評価と見直し・指示

■定期見直し  
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
<b>【取組状況の評価結果】</b>				<b>【環境経営方針】</b>	
①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等に関し、違反・訴訟はありません。				変更の必要性： □有 ■無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 環境経営目標に問題点があるが、是正処置がなされている。 一過性のものである為、今後の削減に取り組んでいく。				課題とチャンスを経営的視点で見直し、環境経営方針に反映させている。	
③前回までの代表者の指示事項への対応 各施工現場への環境パトロールを強化し、環境リスクを低減するよう周知徹底を図った。				<b>【環境経営目標・環境経営計画】</b>	
④環境への負荷状況 厳冬であった為、灯油の使用が増加。 活動路線減少による、環境美化活動の減少。				変更の必要性： ■有 □無	
<改善提案> 特になし				取り組み活動が全社員に周知徹底されている。 今後も、気を引き締め取り組んでいく。 灯油使用量、環境美化活動が目標未達成。	
<b>【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】</b>				<b>【実施体制】</b>	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	変更の必要性： □有 ■無	
ガソリン	○	○	良く出来ている	環境経営に関する役割・責任・権限は有効に機能しており、現状では変更の必要性はない。	
軽油	○	○	良く出来ている		
灯油	×	○	目標値が未達成である		
電力使用量	○	○	良く出来ている		
CO2排出量	○	○	良く出来ている		
水使用量	○	○	良く出来ている		
一般廃棄物排出量	○	○	良く出来ている		
産業廃棄物排出量	○	○	良く出来ている		
産業廃棄物再資源化率	○	○	良く出来ている		
グリーン購入	○	○	良く出来ている		
環境負荷の少ない工事	○	○	全工事で実施できている		
環境美化活動	×	○	活動自体は良く出来ている		
<改善提案> 活動自体は大変良く出来ている。 厳冬により、目標値の達成が困難になることも想定されるが一過性のものなので目標値に近づけるよう取り組んでいく。					
<b>【周囲の変化の状況】</b>				<b>【環境経営システム】</b>	
①外部コミュニケーション記録より 付近住民とのコミュニケーションが良く出来ている。 清掃ボランティア活動も実施できている。 なお、運用期間中に周辺住民からの苦情はありませんでした。				変更の必要性： □有 ■無	
②環境関連法規制等の動向他 特になし				目標の達成状況を四半期毎、計画の実施状況を月次で実施されている。 灯油使用量、環境美化活動が未達成と なっているが、一過性のもので今後も削減を行い、 目標の達成に努める。	
<改善提案> なし				<b>【総括】</b>	
なし				活動は有効に機能している。 全社員に環境活動の目的が浸透している。 今後も、自らの事業活動に適合した積極的な取組みを実施し、 地球環境への負荷の軽減を行い、環境保全に貢献していく。	